

## 応援やめたっ！～平成23年11月

今年のキャプテンは統率力ある梅村。山下、三原も2年生になってバックスも充実。監督も不評(?)の吉田明から、創部以来ラグビー部を支えてきた大西先生に戻って伝統のフォワードが大復活。なんて、決め付けてオープン戦から見守り続けましたが・・・  
「なんじゃこりゃ～！」ってのが正直な感想。

天理大学に負けて、関西学院大学に惨敗、近畿大学にもやられて、大阪体育大学に敗戦。摂南大学には勝ったものの、同志社大学に善戦するも敗戦、立命館大学は、猿渡のゴールキック100%成功という活躍で27対22という結果で一矢報いるも、最終順位は7位で入替戦・・・って、応援やめた。

どないなってまんねん京都産業大学。指導者？リクルート？練習環境？ゲームプラン？レフリー？あれこれ意見も分かれますが、最大の問題は、選手自身ではないでしょうか？



競技は違いますが、かつて子供たちからコーチと呼ばれた経験のある私から、勝手な提言。良い悪いは別として、子供たちから上達方法を聞かれたときに答える回答の一つ。

「まず自分から見て上手だと思う人の真似をすること。動作、プレー、しゃべり方。何でもいいからその人の真似をして、その人になり切ることから始めよう！」

なんて、スターカーみたいなこと言うてますが、やってみると結構効果が上がります。けれども、誰も私の真似をしてくれないのが悲しい現実ですかね。



さて、そんな提言から、まず各人が目標とする選手になり切るという手はいかがでしょうか。フォワード1列はオールブラックスのケビン・メアレムになって、接近戦になったらともかくボールに絡む。マイボールなら、持って進み、ヤンボールなら、当って止める仕事に集中。3列ならリッチー・マコウにな

って、低いタックルで相手を裏返す。ギャップを見つけたら一気に攻め込む。

ラインアウトでは、スプリングボックスのリフティング。ヒゲを伸ばして、ヘッドギアを被ってヴィクター・マットフィールドになり切れれば、相手ボールも奪い取れます。スクラムは、ウェールズ。名前だけでもこの国で最も一般的なジョーンズを名乗って、髪が擦り切れて、頬が真っ赤になるまで純朴に、ひたすら前に押し続ける。

ハーフは、ワラビーズから。スタンドオフならケード・クーパーを真似しましょう。目つきは悪く、ディフェンスではボールの落下地点に真っ先に駆けつける。コンバージョンキックは、仮面ライダーの変身か、欽ちゃん走りのスタートのポーズで構えて、場内からブーイングを浴びて蹴り上げる。スクラム・ハーフは、ウィル・ギニア。まずは髪型から真似して、ボールを持てば、蹴ったり、走ったり、戻したりで相手に「このチビ何すんねん！」と思わせましょう。

バックスでは、センターはオールブラックスから、マーア・ノヌー。自分で捕まえた鳥の羽根で髪飾りを作って、髪の毛に編みこみましょう。プレースタイルは、いつも笑顔で、突撃、ぶちかまし、体当たり。タックルに来る相手をためらわせれば、エアリマネジメントはこっちのもの。ウイングなら、スプリングボックスから、ブライアン・ハバナ。まずは、肩パット入れて完全武装、フィールドの中を自由自在に走り回って、一気にインゴールに飛び込めば、トライ量産間違いなし。



目標が遠すぎますか？では、身近なところから真似しましょう。

相手ディフェンスから襟を引っ張られるのが嫌だから、襟はジャージの内側に折込みましょう。ケガが多かったのが難点でしたが、サイドラインのギリギリを選んでトップスピードで走り抜ければ、大畑大介に。

ボールは赤子を抱くように持つだけでなく、目の前にもってきて、あやすように左右に揺り動かす。キックティーは使わず砂を盛って、蹴る方向に沿って、砂でしるしを描きます。飲みすぎという噂も聞きますが、現役時代は最後まで残ってキックの練習をしていたという努力する天才、廣瀬佳司になりませんか。

さて、フォワードなら田倉政憲。体格に恵まれていたわけでもなく、足が速かったわけでもないのに、ジャパンに選ばれた理由が、「ともかく、スクラムが強いから。」

以降、木下剛や山下裕史も桜のジャージに袖を通しましたが、『スクラムの京産』を全国ネットにしたのは間違いなく、現在の田倉コーチです。いつも、神山グランドや試合会場で遠い位置から熱い眼差しを向けていますが、怖がらずに(?)近寄って、どんなことでもいいから田倉政憲の真似をして、『ともかくスクラムが強い選手』と呼ばれることを目指しましょう。



来年のリーグは、背番号1から8は田倉、9と10は廣瀬、11から15は大畑の真似で一つでも多くの勝利を目指しましょう。

今年の応援やめた！

けれども、来年は応援したくなるチーム、すなわち勝てるチームを結成して、私を競技場のスタンドに戻して下さい。

平成23年11月26日記

Top  
[トップ](#)  
[↑](#)

Back  
[戻る](#)



[歴史～平成24年12月](#)